第67回関東ブロック民俗芸能大会のお知らせ

第67回関東ブロック民俗芸能大会が、10月12日(日)に練馬文化セ ンター大ホールで開催されます。関東甲信越の11都県が持ち回りで 開催する本大会が東京都で開催されるのは、実に11年ぶりです。今年 は1都5県より7つの民俗芸能が出演します。その土地土地に伝承さ れ、今に息づく貴重な無形文化遺産である「民俗芸能」を一度に7つも 鑑賞できます。

東京都からは、板橋区や練馬区を中心に活動している「相模流里神 楽・萩原由郎社中」と、奥多摩町の「境の獅子舞」が出演します。

萩原由郎社中は、数ある里神楽の演目から「八雲神詠」を上演しま す。これは「ヤマタノオロチ」の神話で知られる、スサノオノミコトの 大蛇退治のお話です。

境の獅子舞は、関東西部に分布する三匹獅子舞の一つで、江戸時代 から続くことが分かる資料も残っています。上演する「太刀掛り」は、 「白刃」とも呼ばれる悪魔払いの舞です。

いずれも東京都無形民俗文化財に指定されています。是非お越しい ただき、貴重な民俗芸能をお楽しみください。

日 時 10月12日(日) 12時開場12時半開演

場 所 練馬文化センター 練馬駅北口徒歩1分 ※入場無料

出演予定民俗芸能

相模流里神楽・萩原由郎社中(東京都) 追分の人形芝居(山梨県) 境の獅子舞(東京都)

山北のお峰入り(神奈川県) 三条神楽(新潟県)



相模流里神楽·萩原由郎社中



西多摩郡彫刻調査報告 一小河内神社所蔵の木彫像一

熊野皇大神社太々神楽(長野県)

西浦の田楽(静岡県)

東京都教育委員会では『西多摩郡彫刻調査報告―小河内神社所蔵の木彫像』を刊 行しました。小河内神社は、小河内ダム(昭和32年度完成)建設工事のために水没 した地域にあった神社、九社十一祭神を合祀した神社で、社殿には各社から集めら れた木彫像、懸仏、祭祀用具、社殿の棟札等が納められています。今回の調査では、 35軀の木彫像について、像の形や構造、大きさ等を記録し、調査写真を撮影しまし た。また、どんな木材によって作られたかを調査するため、顕微鏡写真等を撮影し ました。小河内神社の木彫像は非公開ですので、詳細な情報と画像を報告書でご覧 いただければ幸いです。

さて、この度の調査の結果、35軀のうちには、造像が平安時代に遡ると考えられ る像が複数確認されました。特に蔵王権現像が5軀残されていることは注目され、 西多摩郡檜原村の五社神社、八王子市の御岳神社、あきる野市の武多摩神社に残さ れている蔵王権現像とともに、西多摩地域或いはその周辺に、古様な蔵王権現信仰 が展開していた可能性を示唆するものです。東京都教育員会は今後も調査を続け、 貴重な文化財の保存に役立ててまいります。



蔵王権現立像(都指定有形文化財(彫刻))

東京文化財ウィークは今年で28回目の開催です。文化財に触れることのできる貴重な機会ですので、ぜひ現地に 足を運び、マナーを守りながら文化財をお楽しみください。

令和7年9月30日

発行 東京都教育庁地域教育支援部管理課 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03 (5320)6862



東京都教育委員会印刷物登録 令和7年度第44号

令和7年(2025年)9月30日 東京都教育庁地域教育支援部管理課



它如来坐像,木浩薬師如来坐像,木浩釈迦如来坐像(大田区 都指定有形文化財(彫刻) ※11月22日(十)のみ公開



大沢の山葵栽培農家(三鷹市) 令和7年3月、都指定有形民俗文化財に指定 東京タワー(港区)国登録有形文化財(建造物)



東京文化財ウィーク2025が始まります!	1~3
千住宿開宿400年と新規登録文化財(足立区)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4~5
文化財をつなぐ(千代田区・瑞穂町)	6~7
第67回関東ブロック民俗芸能大会のお知らせ/西多摩郡彫刻調査報告―小河内神社所蔵の木彫像―・・	8

東京文化財ウィーク2025が始まります!

東京都教育庁では、「文化の秋」にちなんだ毎年10月、11月に、都内の文化財により親しんでいただくことを目的として 「東京文化財ウィーク | を開催しています。

都内各地で集中的に文化イベントが開催されるほか、10月25日(土)から11月3日(月・祝)の10日間にかけては、通常は 公開していない貴重な文化財も多数公開されます。この機会にぜひ、東京の豊かな文化に接してみてください。

東京都内の文化財を一挙公開



こちら!



▲キッズホームページは こちら!

各文化財の公開状況の詳細については、「東京都文化財ウィーク 2025」ホームページ及び「東京都文化財デジタルマップ」でご確認ください。



旧宮脇ビル(川崎ブランドデザインビルヂング) (中央区) [国登録有形文化財(建造物)]

銀座昭和通りの角地に建つ商業ビルで、「銀座で隆盛した不燃化商業ビルの 現存例として貴重。」として、2025年3月に国の登録有形文化財に選定さ れました。特別公開日には、ビルオーナーによる直接解説を予定しています。 公開日:通年公開(※特別公開:10/25・26・31、11/1・2) 公開時間: 13:30-16:00 所在地: 中央区銀座 1-20-17 料金: 無料 ※ MUSEE GINZA ギャラリーの営業時間に準ずる ※時間外は外観のみ公開

アクセス:東京メトロ 有楽町線「銀座一丁目駅」10番出口から徒歩3分



ならびに保存修理が終了し特別に公開します。

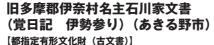
石幢(立川市)(国宝)

公開日:11/1・2 公開時間:10:00~15:00 所在地: 立川市柴崎町 4-20-46 玄武山普濟寺 料金: 無料 アクセス: JR 「立川駅」 南口より徒歩 15 分/多摩モノレール 「柴崎体育館駅」 より徒歩7分

玄武山普濟寺(臨済宗建長寺派別格地)が所蔵する延文6(1361)年造立の

石塔です。緑泥片岩の板石に四天王像と仁王像が彫刻され、六角に組み上げら

れた優美な造形品で、多摩地域に伝わる数少ない国宝のひとつです。防災移設



旧多摩郡伊奈村の村役人を務めた石川家に伝来し、江戸時代 から明治期中期に至る伊奈村及び周辺村落の歴史的動向を知 ることができる史料群です。今回、江戸時代の伊勢参りに関 する「伊勢参宮道中日記」を特別公開します。

公開日: 10/25 ~ 11/3 ※休館日 10/27 公開時間:9:30~16:30

所在地: あきる野市五日市 920-1 五日市郷土館 料金:無料

アクセス:JR 五日市線「武蔵五日市駅」より徒歩 17 分/バス: 「武蔵五日市駅」より養沢・檜原方面行き「五日市高校」バス 停より徒歩3分

- ・公開する文化財や企画事業の一覧は、東京文化財ウィークホームページに掲載しています。
- ・公開日時の詳細や事前申込の方法については、必ずホームページをご確認ください。
- ・各文化財所在地では、文化財の解説カードを無料配布しています。

学に当たっての

文化財は私たちの大切な宝物であり、 後世に受け継いでいくべき財産です。文 化財を見学するときはマナーを守ってご 鑑賞ください。

撮影禁止の場所もありますので、現地 の指示や、「東京文化財ウィーク」ホーム ページの各文化財紹介に記載の注意事項 に従ってください。

旧前田家本邸での催し(目黒区)

旧前田家本邸では、「東京文化財ウィーク 2025」の期間中、特別ガイドを実施しています。ぜひ、 この機会に足を運んでみてください。(予定日: 10/25 ~ 11/3)

所在地:目黒区駒場4-3-55 目黒区立駒場公園

アクセス:京王井の頭線「駒場東大前駅」西口より徒歩8分/小田急線「東北沢駅」より徒歩13

分 / 小田急線「代々木上原駅」より徒歩 15





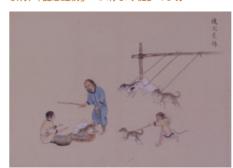


旧辻陶房主屋兼作業場及び旧辻陶房登り窯(多摩市) 【国登録有形文化財 (建造物)】

信楽の土を使った無釉焼き締め陶を中心に、「明る寂び」という作風を追求した 陶芸家の辻清明・辻協が、数々の作品を作り出した住居跡兼創作の場と、登り

公開日:10/29・11/3 公開時間:午前・午後の部(詳細は申込時に案内) 所在地:多摩市連光寺 料金:無料

アクセス:京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅からバス(聖ヶ丘団地経由永山駅行)又は 京王相模原線・小田急多摩線「永山駅」からバス(聖ヶ丘団地経由聖蹟桜ヶ丘 駅行) 「記念館前」 バス停より徒歩 10 分



間宮林蔵北蝦夷等見分関係記録(北夷分界余話) 【国指定重要文化財 (美術工芸品)】

間宮林蔵のカラフト調査に基づく口述を編集・筆録したカラフトの地誌・民族 誌です。彩色図 96 図を用いてカラフトアイヌの生活が忠実に描かれています。

所在地:千代田区北の丸公園 3-2 国立公文書館 料金:無料 アクセス:東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口より徒歩5分



旧古河氏庭園(北区)(国指定名勝)

通常時の一般見学では非公開となっている「旧古河氏庭園内洋館(大谷美術館) の2階和室」の扉を開放し、ホールから和室の内部をご見学いただけます。

公開日: 10/25~11/3 ※休館日 10/27 公開時間: 10:30 ~ 16:30 (最終入館は 16:00)

所在地:北区西ケ原 1-27-39 旧古河庭園内洋館 料金:入館料(一般 500 円 障害者 250 円 中学生 250 円 小学生以下無料) アクセス:東京メトロ南北線「西ヶ原駅」2番出口より徒歩約7分/JR京浜

東北線「上中里駅」より徒歩 7 分/ JR 山手線「駒込駅」より徒歩 12 分



江戸幕府書物方関係資料(御書物方日記)(千代田区) 【国指定重要文化財 (美術工芸品)】

将軍の図書館・アーカイブズである紅葉山文庫を管理する書物奉行の約 150 年間にわたる業務記録です。記述の内容は、蔵書の管理・出納、目録類の編纂 など多岐にわたります。

ご活用ください。

公開日: 10/25~11/3 公開時間: 9:15~17:00 所在地:千代田区北の丸公園 3-2 国立公文書館 料金:無料 アクセス:東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口より徒歩5分

企画事業 都内各地で文化財関連イベントを実施します。

東京都指定史跡「多摩ニュータウン 初めての海苔つけ体験 (大田区) No.57 遺跡」出土品特別展示(多摩市)



東京都立埋蔵文化財調査センターに併設されている、遺跡庭園 「縄文の村 | は東京都指定史跡 「多摩ニュータウン No.57 遺跡 | の上に整備されています。

この展示では遺跡の発掘調査で見つかった縄文時代の集落の様 子や遺物について展示・解説します。

公開日: 10/28 ~ 11/24

公開時間:9:30~17:00 (3月~10月)

所在地:多摩市落合 1-14-2 都立埋蔵文化財調査センター 料金:無料 アクセス:京王線・小田急線「多摩センター駅」





昭和中期まで大田区で行われていた「海苔付け」と いう方法で、生海苔から乾海苔を作る作業の体験を します。完成した海苔は後日、お手元にお届けします。 ※対象:小学生以上(対象年齢未満の体験や見学 同伴は不可)

公開日: 11/24 · 29 公開時間: 10:00 ~ 12:00 所在地:大田区平和の森公園 2-2 大森 海苔のふ るさと館 料金:無料 アクセス:京急線「平和島駅 | 又は東京モノレール「流

通センター駅」より徒歩約 15分

東京都文化財デジタルマップ公開中

東京文化財ウィーク期間中には、 特別公開・企画事業・ガイドステー ション施設の情報も 公開予定です。ぜひ 文化財を訪れる際に





3



千住宿開宿 400 年と 新規登録文化財



1 千住宿開宿 400 年

寛永 2 年 (1625)、江戸と東照宮を結ぶ「将軍家の 参道」として整備された日光街道の初宿として、千住 宿が開宿しました。令和 7 年 (2025) は、開宿から 400 周年という記念すべき年にあたります。

2 千住宿の文化活動―千住の酒合戦―

天保 15 年 (1844) の調査 (「宿村大概帳」) では、 千住宿の人口が 9,956 人とあり、これは江戸四宿 (千 住宿・板橋宿・品川宿・内藤新宿) の中で一番多い人 口でした。陸運や水運の結節点となる地の利を活かし、 千住宿は繁栄していたのです。千住宿の旦那衆は、そ の富裕な経済力を背景に、活発な文化活動を行いまし た。

下谷(台東区)の三幅対(江戸時代後期に下谷に住んでいた三人の文化人)として著名な絵師の谷文晁、酒井抱一、書家の亀田鵬斎の三人は、下谷と千住宿が近いこともあり、頻繁に千住宿を訪れ千住宿の町衆と交流していました。

千住宿における文化活動の象徴的な行事が文化 12年 (1815) に開催された千住の酒合戦です。飛脚問屋の中屋六右衛門の還暦を祝って開催された酒合戦には下谷の三幅対をはじめとする数多くの文人が賓客として招かれ、大変な盛り上がりとなりました。

3 足立区文化遺産調査と千住の絵師

平成22年度から、仏教遺産・生活資料・歴史画像 資料を対象とした文化遺産調査を実施しました。また、 これと並行して、同年度に足立区立郷土博物館で「千住の琳派」展を開催しました。すると、数多くの区民の方々から、まだ知られていない貴重な地域美術資料についての情報が寄せられるようになりました。そこで、あらためて地域美術資料を対象とした第二次文化遺産調査を開始し、現在も継続しています。

こうした調査の中で、酒井抱一・鈴木其一という江 戸琳派の系譜を受け継ぐ千住の村越其栄・向栄父子の 存在が注目されるようになりました。父子は、千住河 原町で寺子屋を開いていましたが、其栄は鈴木其一の 門人で、絵師としても活動していました。

千住の文化活動は明治になっても継続し、旦那衆は 向栄とともに光栄会や与楽会という古美術品の展覧会 などの文化活動を行っており、向栄に作品を依頼する ことも多くありました。

4 令和6年度新規足立区登録文化財

足立区は、文化財を後世に守り伝えていくために文 化財の指定・登録を行っており、令和6年度には千住 に関係する地域美術資料を中心とする21件の文化財 を登録しました。その内の3件をご紹介します。

(1) 建部巢兆「吉野山桜竜田川紅葉図屏風」

建部巣兆は、江戸時代中後期に活躍した千住宿を代表する文人で、俳諧宗匠でありながら、書画に優れ、「倭絵師」と自称していました。

本作は、巣兆が千住南組(現・荒川区南千住)で材木問屋を営む萬屋利兵衛と関西を旅した後、利兵衛からの依頼で制作されたものと伝わります。



建部巢兆 [吉野山桜竜田川紅葉図屏風] (左隻) 江戸時代後期 足立区立郷土博物館所蔵

発色のよい良質な顔料が使用され、金泥による線描も施されており、随所に技巧が凝らされています。たわわに実る稲穂の描写には、巣兆独自の表現も認められます。

(2) 谷文晁・酒井抱一・他6名「高陽闘飲図巻」

「高陽閩飲図巻」は、千住の酒合戦に招かれた谷文晁・一世谷文一、酒井抱一、狩野素川彰信の描いた絵や、亀田鵬斎の序文、大田南畝の記録戯文「後水鳥記」、光鑵詩仏の漢詩、市河寛斎の跋文などで構成された酒合戦の記録書画巻です。

足立区における美術・文化史の理解と調査研究に不可欠

な一点です。

掲載の場面は、谷文晁と一世谷文一の描いた酒合戦のワンシーンで、二人の男性が、大きな盃を両手に抱えて酒を飲み干す様子が描かれています。

(3) 村越向栄「八橋図屏風」

父である村越其栄の寺子屋を継いだ村越向栄は、千住の 旦那衆と交友しながら作品を生み出していました。

本作は、無子花が群生する中に八橋が描かれるという、琳派の伝統的な画題です。金地の作品が多いこの画題に、あえて銀地を選択した意欲的な作品として評価されています。



「高陽嗣飲図巻」(部分) 谷文晁・一世谷文一「酒戦図」文化 14年 (1817) 頃 個人蔵



村越向栄「八橋図屏風」明治時代 個人蔵

5 特別展のご案内

足立区立郷土博物館では、千住宿開宿 400 年を記念した展覧会を開催します。千住宿に関する様々な資料を展示しますので、ぜひ足をお運びください。

※今回ご紹介した3点の作品の展示については未定

【文化財に関する問合せ先】 足立区地域のちから推進部生涯学習支援室 地域文化課文化財係 電話 03-3880-5984

足立区立郷土博物館 特別展「千住宿 400 年」

期 間:令和7年10月21日(火)~

令和8年1月11日(日)

休館日:月曜日・年末年始(12月29日から1月3日)

所在地:〒120-0001

足立区大谷田五丁目 20 番 1 号

電 話: 03-3620-9393

※詳しくは QR コードから足立区立郷土 博物館公式ホームページをご覧ください。



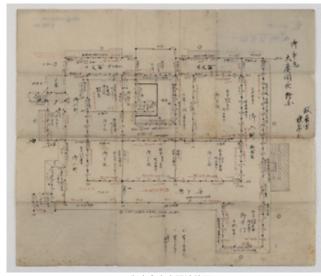
文化財をつなぐ(千代田区) 御殿の建築現場を後世へ 江戸城本丸・西丸御殿建築図面 東京狭川茶手もみ製法



▲東京狭山茶手もみ保存会

調査と文化財指定

江戸城本丸・西丸御殿建築図面(以下、「江戸城建築図面」という。)は、平成23年の千代田区立日比谷図書文化館の開館にあわせて、区が古書店から購入した資料です。平成29年から令和2年にかけて3回の調査を行い、報告書を刊行しました。その中で文化財としての価値を明らかにし、令和4年4月1日付で千代田区指定有形文化財(歴史資料)に指定しました。



▲御本丸大広間地絵図

「江戸城建築図面」の魅力

江戸城御殿建築に関わる図面は、幕府作事方や小普請方、あるいはその配下の大工棟梁らの手によって管理されたため、現在所在が確認されている資料の多くは、作事方や小普請方を務めた家に伝来したものです(都立中央図書館所蔵「甲良家文書」、国立歴史民俗博物館所蔵「大工棟梁鈴木家文書」など)。それに対し、本資料は幕府作事方が作成した元図の写しと見られ、現場大工が所持したものと考えられています。竣工図と比較すると現場レベルの模様替えの痕跡も見られ、現場で図面がどのように使用されたかうかがうことができます。また、元治元年(1864)に再建された西丸御殿は、同時期に焼失した本丸御殿の仮御殿として使用され、その後明治宮殿として使用されました。この仮御殿に関しては、都立中央図書館所蔵の平面図を除きほとんど図面の所在が確認されて

いませんでしたが、「江戸城建築図面」には仮御殿の土台 図や矩計図、詳細図などが含まれており、今後御殿建築 の研究に寄与すると期待されます。

「江戸城建築図面」を未来へつなぐ

現場図面のため、使用されている紙は高級なものではなく、小さい紙を何枚も継いで大判にしています。収集時点ですでに劣化が進んでおり、特に継ぎ部分の糊剥がれが激しい状態だったため、修復を行いました。紙の質が悪くしわになりやすいため、中性紙封筒への出し入れ時に負荷がかからないよう収納方法を工夫し、継承できるよう努めています。

文化財指定後、展覧会等ではお披露目の機会がありませんでしたが、令和7年10月1日からの企画展で、江戸城大奥の空間を紹介するために展示する予定です。ぜひ間近でご覧いただき、江戸城御殿建築の現場を想像していただけたら幸いです。



▲澱粉糊を用いた継ぎ直しの様子

【問合せ先】

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 千代田区立日比谷図書文化館文化財事務室 (千代田区地域振興部文化振興課文化財係) Tel: 03-3502-3348 HP: https://www.edo-chiyoda.jp/index.html



企画展「千代田の大奥一時代へのまなざし一」会期:10月1日(水)~11月9日(日)場所:日比谷図書文化館1階特別展示室観覧料:一般500円、大学・高校生300円詳細はこちらをご覧ください。https://www.edo-chiyoda.jp/tenji_koza_kodomotaikenkyoshitsu/tenji/1/589.html



瑞穂町では、令和4年、町の登録無形文化財として、 東京狭山茶手もみ製法が登録されました。狭山茶の主要 生産地は埼玉県入間市、所沢市、狭山市など埼玉県側で すが、東京都では瑞穂町の生産量が最も多く、青梅市な どとともに「東京狭山茶」として分けて呼ぶこともあり ます。

狭山茶の歴史

狭山茶の歴史は、江戸時代の後期、文化・文政年間に 狭山丘陵北麓の村野盛政(瑞穂町)と吉川温恭(埼玉県 入間市)の二人が中心となり地域に根付かせていきます。 京都宇治の永谷宗円が考案した宇治製法を導入し、江戸 の茶問屋との取引を行うことで江戸を中心として関東に 広まり、明治時代には海外にも輸出することで地場産業 となります。現在では個人で茶園を経営している家が多いため、茶の栽培から製造、販売までを一貫して行う、 六次産業化した茶園も多くあります。





▲吉川温恭肖像画

▲狭山茶場之碑

手もみ製法

手もみ茶は、摘んだ茶の新芽を、「蒸し」「葉振い」「軽回転」「重回転」「玉解き」「中上げ」「揉切り」「転操」「こくり」「乾燥」といった工程を経て荒茶に仕上げる製法です。現在ではこうした工程は機械によって行われていますが、それ以前は全て手作業で行っていました。蒸された茶葉は、焙炉の上で揉みながら乾燥されますが、思った通りの味・色・香りに仕上げるためには熟練した技術が必要となります。

また、狭山茶の特徴は「狭山火入れ」と呼ばれる、通常より強め・高温での火入れです。これは狭山茶の生産地がお茶の栽培にとっては比較的寒い丘陵地帯のため、お茶の葉肉が厚くなるためで、製茶加工の仕上げ段階で高温の火入れをすることで狭山茶のお茶の味わいや香りが生まれます。



▲仕上げに近い手もみ茶

普及活動

狭山茶の手もみ製法については、瑞穂町を中心とした周辺地域の茶園の当主やその関係者による「東京狭山茶手もみ保存会」によって伝承されています。瑞穂町では瑞穂町郷土資料館での手もみ実演のイベント(年2回実施予定)や町の産業祭での実演などで一般の方でも手軽に手もみ製法を見ていただける機会を設けています。今後も一層の手もみ製法の技術向上と情報の発信が望まれます。



▲手もみ実演の様子

【問合せ先】

瑞穂町教育委員会教育部図書館課 文化財担当(瑞穂町郷土資料館けやき館) Tel: 042-568-0634

6